

<週報No. 2,896> 3,007 回例会

2019年9月20日(金)

◆会長/玉本 広人 ◆幹事/山田 文雄

◆司会=八幡一成 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本 日	72.50%	19名欠席
前 回	87.50%	6名欠席

◆ラッキーナンバー=No.15 北川和彦君

◆ニコニコボックス ●玉本広人君=先週の急な欠席、今週の遅刻申し訳ありません。●山田文雄君・北川和彦君=ゴルフ例会、飯田会員優勝おめでとうございます。●河田康幸君=ゴルフ例会ありがとうございました。●飯田兼光君=ゴルフ例会優勝させて頂きました。ありがとうございました。結婚式にお花をいただいて。●北川和彦君=ラッキーNoにあたって。

◆会長告知・玉本広人会長=先週のゴルフ例会は体調不良で欠席となり申し訳ありませんでした。本日はポリオとの闘いが他の疾病にも影響を与えているというお話をします。世界ポリオ根絶推進活動は予防接種とポリオ根絶のための態勢づくりをしてきましたが、これが他の疾病との闘いにも活用されています。1つは、低温流通システムです。ポリオワクチンは低温で保管しないと効能が失われてしまう危険性があり低温流通システムが開発されましたが、これがパキスタンではしか予防システムに繋がっています。2つ目はマイクロプランニングです。全ての子供にワクチン投与するために各地域のあらゆる情報を収集します。これにより、医療従事者は優先すべき地域の特定や問題に対処でき、効果的な予防接種キャンペーンの計画を立てることができます。インドでははしかと風疹の予防接種率を高めるためにこれを採用しています。3つ目は監視体制です。ポリオの監視体制はポリオの新しい症例を特定し、どこでどのように発生したのかを突き止めることができますが、これがナイジェリアで黄熱病の症状を持つ人を見つけるために活用されています。4つ目は接触者追跡調査です。医療従事者はこの調査を通じて感染が疑われる人と接触した人を見つけます。2014年ナイジェリアでエボラ感染

が発見された時に、発症者と接触者を特定し隔離したことで感染拡大を防ぎました。5つ目は緊急対策センターです。これは、医療従事者や政府関係者が協力し、より迅速より効果的に緊急対策を行えるようにするために一元管理された場を提供するものです。ナイジェリアのセンターはポリオ対策のために作られましたが、後にエボラ出血熱にも対応しエボラ大流行時に3カ月以内でナイジェリアはエボラフリーを宣言できました。

◆幹事報告・山田文雄幹事=IM関係の部会が動き始めました。一昨日は総務部会、今晚は講演部会が開催されます。河西委員長より理事会承認済の配布資料の内容が説明されます。今年度の地区大会は予定通り10月26日(土)・27日(日)となります。27日(日)はご予約置きをお願いします。My Rotaryのアカウント登録者が54.17%で止まっています。未登録22名の方の奮起に期待します。来週27日(金)はローターアクトとの合同夜間例会で、午後7時点鐘です。

◆委員会報告

●IM実行委員会・河西正一君=会長・ガバナー補佐・事務局とIM副実行委員長



を決定しました。今年度のIMは来年3月7日(土)紅やで行います。テーマは「輝くローターライフを創るために」です。内容は式典に加え、会員セミナー、講演会、懇親

会という構成です。他のクラブに負担をかけることはやめよう、明るい気持ちになるものにしよう、ということで進めてきました。会員セミナーは昨年地区大会で感銘を受けた、RI2620地区パストガバナーの高野孫左エ門さんをお願いしました。先日、三井パストガバナーと北川副実行委員長と3名で訪問し大変興味深い話をしてくださると思います。講演会は「ウィズ・エイジング 何歳になっても光り輝くために」というテーマで、日本で一番の老人医療の権威で、北川さんの同級生でいらっしゃる鳥羽研二さんをお願いしました。「アンチ・エイジング」ではなく、「ウィズ・エイジング」=歳と共に生きようというお話をいただき、皆さん明るい気持ちで帰れるような講演をお願いしたいと思います。次に、理事会

で決定した IM 実行委員会の正式メンバーをご連絡します。なるべく今月に 1 回は部会を開催いただきたいと思います。開催はまだ先ですが、まずは所属部会を知っていただきたいと思います。細かい事はこれからですがご協力を宜しく願います。

●**三井章義君**＝武田信玄が塩が無い時に上杉兼信が塩を送ったというエピソードがありますが、この塩を送った方が高野家の初代の方です。今は石油製品販売を主とされていますが塩は今でも扱っています。また山梨トヨペットの社長もされています。高野さんのお母様は下諏訪塾本陣・岩波家の分家のお嬢様でした。尚、現在岩波家当主はガラスの里社長の岩波さんです。代々孫左エ門を襲名しており、私は前代の孫左エ門さんと親しくさせて頂きましたが、パストガバナー、米山の理事長、ロータリーの友の理事長をされた方で、その方の息子が今回の高野さんです。私が入会した時の諏訪クラブの長老でいらっしゃった岩波寛さんは高野さんの母方の祖父です。高野さんは 2018 年に国際ロータリー研修リーダーを務められてもおり、ロータリーに精通されており大変立派な方です。

●**北川和彦君**＝戸田さんは松本生まれで小学校の時に岡谷に移り、お父様が岡谷病院の院長をされていました。諏訪青陵高校から東京大学医学部に入られ、テネシー大学に留学され、医療と福祉双方を学ばれています。今は東京の健康長寿医療センター理事長です。ご本人は良い人物で難しい話はされなと思います。ウィズ・エイジングということで年代に応じた生き方について、いい話をしてくださると思います。ご期待ください。

●**青少年奉仕委員会・五味武嗣君**＝来週 9 月 27 日（金）午後 7 時からローターアクトとの合同夜間例会を開催します。ローターアクトから諏訪湖マラソンの事前清掃の依頼がありました。10 月 22 日（火）13 時から 16 時半までとなります。清掃終了後、足湯に入る企画で長めの時間となります。参加締切は 10 月 13 日です。

●**ガバナー補佐事務局・飯田兼光君**＝9 月 21 日（土）の諏訪グループ新入会員セミナーについて、諏訪グループの多くの会員が参加予定です。三井パストガバナーと岡谷の宮坂宥洪パストガバナーにご講演をいただきます。

◆クラブ協議会

●**会報・雑誌・広報委員会 北澤光彦委員長**＝ロータリー関連の雑誌の 1 つは RI 発行の「ザ・ロータリアン」、



もう 1 つが、地域雑誌「ロータリーの友」です。この 2 つは併せて「グローバルメディアネットワーク」と位置づけられています。各地域雑誌ではロータリアンの活動を紹介すると共に、ザ・ロータリアンから指定された記事とその

地域の言語に翻訳して掲載します。情報誌の目的はロータリアンがロータリーライフを深めるため、クラブが RI と直結していることを理解するためです。内容は、日本や世界のロータリー活動についてより身近で親しまれることを心がけて編集されています。ロータリーの友の「友」の由来は、雑誌の「主婦の友」から採用されたと言われています。また、ロータリーの友の購読は義務となっています。本誌を推進することで、新アイディアの創出、新会員の勧誘、ロータリーへの情熱を喚起していこうという想いがあります。標準ロータリークラブの定款では「購読を続けることで、会員身分保持の条件としなければならない」と決まっており、それ故に毎月発刊されています。もう 1 つの義務として、先程お伝えした「ザ・ロータリアン」の指定記事を掲載しなければならない、というものがあります。「RI 指定記事」といったタグが付いているものが該当記事です。今期新企画で「この人を訪ねて」「官々譚々」「私の宝物」というコラムがあります。また「案内」として各クラブのイベント開催・合同企画が掲載されたりなど、面白い記事が沢山あります。Web サイトも是非登録ください。ロータリーの友の投稿ルールとして「活動がわかる写真とする」「わかり易くクラブの説明をする」「活動日を入れる」「活動から 1 カ月以内で投稿する」「他人の著作物は使用しない」等があります。ロータリーの友は 1 冊 200 円で 1975 年の初回から金額は維持されています。

◆今後の例会日程

9 月 27 日	金	アクト合同例会 ローターアクト 会員増強について（夜間例会）
10 月 4 日	金	クラブフォーラム 会員卓話
10 月 11 日	金	クラブフォーラム 米山月間